

令和3年度 予算 一般会計 186億円

～「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて～

右記2つの重点方針を基本姿勢とした徹底的な政策協議を踏まえ、「入るを量りて出ざるを制す」財政運営のもと、市民の皆さんに寄り添った事業を気持ちを込めて盛り込みました。新型コロナウイルス感染症対策については、感染対策はもとより、コロナ終息後も見据えた施策を多く盛り込みました。今後も手を緩めることなく、市民の皆さんが安心して楽しく生活できる環境を整えてまいります。

重点方針

- コロナ対策で得られた知見、経験を活かす
- 誰一人取り残されず大切にされる
思いやりのあるまちの実現



予算全体の状況



◎当初予算の規模 ※対前年比は、令和2年度当初予算との比較です

会計区分	予算額	対前年比
一般会計	186億円	+5.1%
特別会計	86億8,600万円	+1.5%
企業会計	28億6,520万円	+9.7%
総額	301億5,120万円	+4.4%

◎特別会計・企業会計予算の内訳

会計区分・会計名		予算額
特別会計 特定の事業を行うため一般会計とは別に置かれた会計 	国民健康保険	86億8,600万円
	後期高齢者医療	28億3,240万円
	介護保険	4億1,720万円
	公共下水道事業	33億5,560万円
	特定環境保全公共下水道事業	10億7,300万円
	農村下水道事業	1億7,700万円
	個別排水処理施設事業	3億2,800万円
	下水道汚泥処理事業	1,460万円
	下水道汚泥処理事業	1億6,400万円
	駐車場事業	380万円
	情報施設	2億8,550万円
給食費	3,490万円	
公営企業会計 地方公営企業法の適用を受けて営利的事業を行う会計 	水道事業	28億6,520万円
	国民健康保険病院事業	8億7,219万円
	国民健康保険病院事業	19億9,302万円

歳入の状況(一般会計)

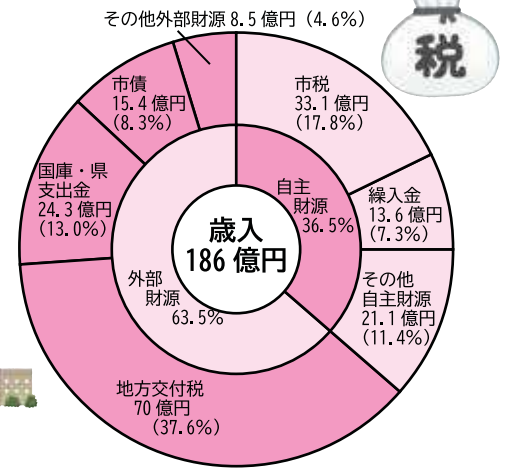


◎自主財源 市が自主的に収入できるお金

- ▶市税 市民税や固定資産税など市の税金
- ▶繰入金 基金を取り崩したお金
- ▶その他 繰越金、分担金・負担金、使用料・手数料、諸収入等

◎外部財源 市が自主的に収入できないお金

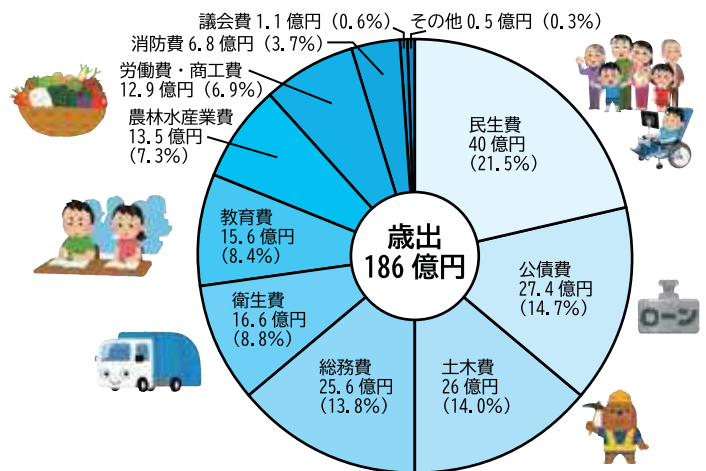
- ▶地方交付税 行政サービス水準確保のため国から交付されるお金
- ▶国庫・県支出金 特定の事業に対して国や県から交付されるお金
- ▶市債 国などから借りるお金
- ▶その他 地方消費税交付金、地方譲与税、その他交付金



歳出の状況(一般会計)



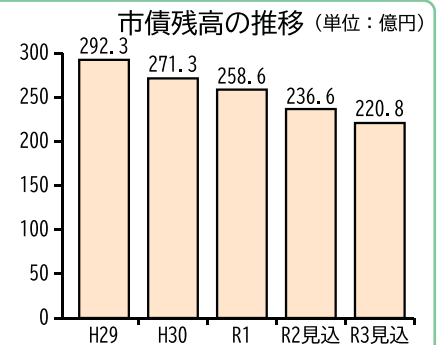
- ▶民生費 子育て、高齢者、障がい者など福祉事業に使うお金
- ▶公債費 借入金(市債)の返済や利息の支払い
- ▶土木費 道路や公園などの整備や維持管理に使うお金
- ▶総務費 徴税や防災、戸籍など行政運営全般に使うお金
- ▶衛生費 健康管理やごみ・し尿処理などに使うお金
- ▶教育費 学校教育や文化・スポーツ活動の振興に使うお金
- ▶農林水産業費 農林水産業の振興に使うお金
- ▶労働費・商工費 商工業や観光の振興に使うお金
- ▶消防費 消防設備や消防団運営に使うお金
- ▶議会費 市議会の運営に使うお金
- ▶その他 災害復旧費、予備費



市債残高(借金)を減らして健全財政に努めています

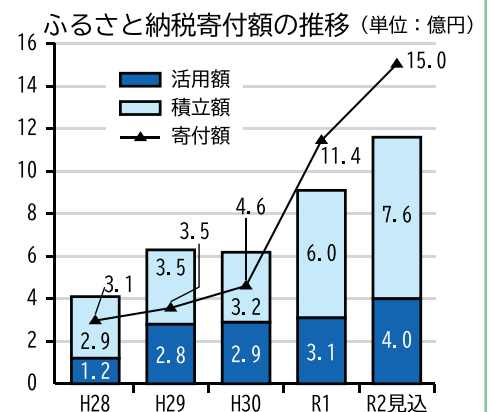
市町村合併からの大型の施設整備を行ってきた市債の償還が順次満了し、市債残高は減少に転じています。

余力を社会保障関係費や政策的経費の財源として活用していくために、大型投資の抑制、交付税措置のある有利な起債の活用など、健全な財政運営に努めています。



ふるさと納税を活用しています 令和2年寄付総額15億円

昨年、飛騨市は「日本一ふるさと納税をしてよかったと思っただけの自治体を目指す」ことを宣言し、全国の方からいただいた寄付額は、15億円を突破しました。そのうち返礼品等の必要経費、今後の積み立てを除いた5億円は「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて12分野の事業で有効活用させていただきます。



予算の概要・各主要事業の詳しい内容は市のホームページでもご覧になれます。 問 財政課 ☎0577-62-8903

令和3年度の

主要事業

～主な事業の概要と予算額を紹介します～

主要事業の詳細やその他の事業は市ホームページでご覧いただけます（右QRコード）



●あんな飛驒市づくり -まちをつくる-

◆誰一人取り残されず大切にされる 思いやりのあるまち

- ◎多重債務にかかる生計見直しトータルサポート体制の構築……………250万円
金融機関、社会福祉協議会との連携により、市が債務保証への支援を行うことで、多重債務に陥っている市民の生計見直しを図ります。
- ◎法人による成年後見の受任体制の強化……………260万円
市社会福祉協議会における法人後見の受任が円滑にできるよう人員体制を強化し、市内における成年後見制度の利用の推進を図ります。
- ◎障がい者全般に対応するワンストップ相談窓口の開設……………772万円
発達支援センターを拡大した「地域生活安心支援センター」を設置し、大人を含む発達支援や24時間の緊急対応、専門職による相談を行います。
- ◎住宅リフォームにかかる支援制度の拡大……………6,000万円
年間を通じて利用いただけるよう受付期間を年2回に分けるとともに、100万円を超えるリフォームの補助上限を最大50万円に引き上げ大きな工事の支援を拡充します。
- ◎公共施設予約管理システムの導入……………912万円
コロナ禍での接触回避のため、スポーツ施設をメインとしてネット予約システムを導入するとともに、予約集中時の自動抽選を同時に行うことで公平性を確保します。
- ◎高齢者等の通いの場への出張販売の促進……………30万円



高齢者等の通いの場へ出張販売する市内事業者に対し、最大5万円の奨励金を交付し、事業者の自発的なサービス拡大を促進します。

- ◎認知症高齢者による事故等の損害賠償保険の支援……………7万円

認知症高齢者が徘徊等で引き起こす問題により高額な損害賠償請求が発生する事例等に対し、賠償責任保険の加入にかかる費用を市が全額支援します。

◆生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

- ◎飛驒市屋内運動場の整備推進……………9,637万円
屋内運動場の建設地となる飛驒市森林公園内の既存施設（管理棟・宿泊棟・テニスコート場）を除却し、新築の基本・実施設計を行います。

◆お互いを家族のように思い、支えあえるまち

- ◎地域コミュニティ施設の維持補修等に対する支援の充実……………1,305万円
集落有集会施設整備事業補助金に、建物の屋根・外壁の修繕や駐車場用地の購入（100㎡以上）及び造成の補助メニューを追加します。
- ◎防災士会の育成と活動備品等の支援……………171万円
防災士資格保有者に対し防災気象、要配慮者対応についてのフォローアップ研修を実施するとともに、防災士会活動のための防災ベスト及び資機材の準備をします。
- ◎子育て支援員の育成……………294万円
子育て支援員研修を市内で開催するとともに、認定を受けた方が保育園やファミサポ等で活躍しやすい環境を整備し、子育て環境の充実を図ります。

●元気な飛驒市づくり -しごとを守る-

◆様々な人や地域との交流から 所得を生み出すまち

- ◎上町農産物直売施設の建設……………12,115万円
老朽化が激しい朝開農産物直売施設を道の駅アルプ飛驒古川の敷地内に建替えし、年間を通じた農産物や加工品の販売により、農産物の販路拡大を図ります。



- ◎バラと森のウィークの開催支援……………150万円
市民や事業者と連携し、河合のバラを贅沢に使った食事やバラ摘み体験、バラ風呂などをセットにしたツアーを企画することで、新たな地域資源の活用を推進します。

- ◎鮎の知名度向上のための設備支援……………72 万円
令和2年度に東京豊洲市場に初参入し好評を得た清流みやがわ鮎の良質で安定的な出荷のため、出荷用の製氷機、品質保全用保冷庫の購入を支援します。
- ◎「飛米牛」を活用した商品開発支援……………13 万円
元公邸料理人の工藤英良氏を招へいし、飛米牛と農産物等を組合わせた料理メニューの開発を行い、料理セットの商品化やレシピによる飲食店での活用を図ります。
- ◎日本みつばち飼育のための技術向上支援……………14 万円
市の新たな特産品となりえる日本みつばちの飼育管理、疾病対策等の知識・技術向上のため、専門家を招き現場での研修会を開催します。
- ◎モデル地区におけるサル被害対策の効果検証……………93 万円
サル被害の多い地区を重点モデル地区とし、柵設置状況の確認やエサとなるものの除去指導など、獣を寄せ付けない環境整備を実施します。
- ◎飛驒の四季の魅力を伝えるオンライントラベルの実施……………110 万円
飛驒市の四季を感じられる自然や食、体験等をテーマに、生放送で市内各地のモノ・ヒト・コトを巡り紹介するオンライントラベルを年4回実施します。



- ◎アフターコロナにおける観光客受入体制の支援……………500 万円
アフターコロナの旅行者ニーズの変化（開放的、少人数、長期滞在、清潔志向等）に対応するための事業者の取り組みに対し、最大100万円を支援します。

◆**変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち**

- ◎広葉樹を活用した賃貸住宅整備の支援……………1,400 万円
広葉樹材を建材として活用するモデル性の高い賃貸集合住宅を整備する事業者に対し、木工事に要する経費の一部を支援する制度を創設します。
- ◎飛驒市産広葉樹を活用した木製品の公共施設等への導入……………150 万円
市有施設等の公共スペースに市内産広葉樹で製作した椅子やテーブル等の設置を市が率先して進め、「広葉樹のまちづくり」のPRと市のイメージアップを図ります。

●**誇りの持てる飛驒市づくり** -ひとを伸ばす-

◆**一人ひとりの頑張りを応援し**
互いに尊敬しあえるまち

- ◎飛驒市特産品をお得に買えるファン感謝祭の開催……………250 万円
事業者との連携により、特産品の通信販売にかかる送料の一部を市が負担することで、全国からお得にお買い物ができる期間限定のキャンペーンを実施します。
- ◎飛驒市を舞台としたソーシャルビジネスの支援…2 万円
市を舞台にして地域課題解決に取り組むソーシャルビジネスに対し、ふるさと納税等の仕組みを開放し、自ら集めた寄附を財源とする補助制度を新たに創設します。
- ◎ファンクラブ会員限定の市内宿泊応援制度の創設……………40 万円
期間限定で、ファンクラブ会員が市内宿泊施設に宿泊される際に、会員1泊あたり2,000円の「さるぼぼコイン」を付与する特典を新たに創設します。
- ◎電子地域通貨等を活用した移住者奨励金制度の創設……………785 万円
従来の家賃支援を見直し、世帯移住の場合は15万円、単身移住の場合は10万円を電子地域通貨「さるぼぼコイン」等で交付する移住奨励制度を創設します。
- ◎「飛驒市民カレッジ」の本開校……………878 万円
市民代表による運営委員や教育支援事業者を交えた運営体制の下、「日本一マジメに面白い市民大学講座」を目指し、本物の大学を模した遊び心あふれるカリキュラムの企画運営に取り組みます。



◆**子ども達の生きる力を**
地域一体で育む学び豊かなまち

- ◎スポーツに特化した新たな学童保育の推進……………190 万円
高校や大学、スポーツ用品メーカー等と連携し、神岡地区をモデルに、これまでの学習を主とした学童保育にスポーツ要素を加え、子ども達の体力づくりを促進します。

◆**豊かな環境と個性ある地域資源を**
大切にす誇り高いまち

- ◎天生県立自然公園のサイン整備……………600 万円
令和2年度に策定したサイン計画に基づき、地域産の素材を活用し自然の景観との調和に配慮したサインを令和3年度から2カ年で整備します。
- ◎鉱山資料館のリニューアルに向けた予備調査…189 万円
鉱山資料館の躯体や展示内容等が老朽化していることから、今後の活用のための過去の耐震診断の修正を行うとともに、補強改修計画の策定を実施します。